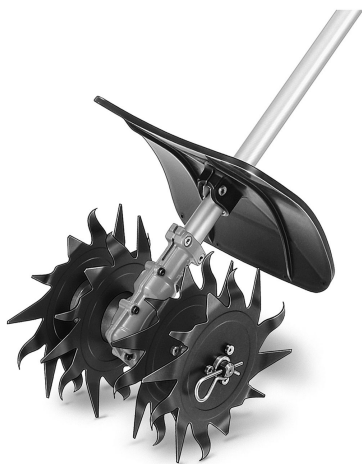


BF-KM

STIHL



2 - 14 取扱説明書



目次

- 1 コンビツール..... 2
- 2 はじめに..... 2
- 3 使用上の注意および作業方法..... 2
- 4 本機の使い方..... 6
- 5 承認されたコンビエンジン..... 7
- 6 運転準備..... 7
- 7 コンビツールの取付け..... 9
- 8 ハーネスの取付け..... 9
- 9 エンジンの始動と停止..... 10
- 10 機械の保管..... 11
- 11 整備表..... 11
- 12 磨耗の低減と損傷の回避..... 11
- 13 主要構成部品..... 12
- 14 技術仕様..... 12
- 15 整備と修理..... 13
- 16 廃棄..... 13
- 17 EC 適合証明書..... 13
- 18 UKCA 適合宣言..... 14
- 19 アドレス..... 14

1 コンビツール

STIHL コンビシステムでは、パワーツールとしてさまざまなコンビエンジンやコンビツールを組み合わせることができます。本取扱説明書では、コンビエンジンとコンビツールで構成される本体一式をパワーツールと呼びます。

そのため、パワーツールにはコンビエンジン用とコンビツール用の各取扱説明書が必要です。

必ず**両方**の取扱説明書を読み、内容を理解してからパワーツールの使用を開始し、取扱説明書は以後の参照用に安全な場所に保管してください。

2 はじめに

2.1 シンボル マークについて

マシンに表示されているシンボルマークは、本取扱説明書で説明されています。

2.2 段落の前に付いたシンボルや数字



人に及ぼす事故やケガ、更に重大な物的損傷に対する警告。



本機本体あるいは構成部位の損傷に対する警告。

2.3 技術改良

当社の信条として、常に自社製品の改良を心がけております。この理由から、製品の設計、技術、外観が定期的に改良される場合があります。

そして、変更、修正、改良の種類によっては、本取扱説明書に記載されていない場合があります。

油圧機用白紙使用
紙はリサイクル可能です。

3 使用上の注意および作業方法



先端が尖った鋭利なカルチペーターブレードが高速で回転するため、ルピック タイン使用時は特別な安全対策が必要です。



初めて使用する前に、必ず両取扱説明書（コンビエンジンとコンビツール）をよく読んで理解し、必要な時に見られるように安全な場所に確実に保管してください。取扱説明書を遵守しなければ生命に危険が及ぶ可能性があります。

パワーツールは、本モデルとその取扱いに精通している人のみ譲渡または貸与し、コンビエンジンとコンビツールの取扱説明書を必ず一緒に手渡してください。

ルピック タインは以前に耕作した土壌や、固まったりゆるくなったりした土壌を耕したり、畝を作ったり、根覆いをしたりする用途のみ使用してください。

本パワーツールをこれ以外の目的には使用しないでください - **事故の危険があります!**

STIHL が本パワーツールでの使用を承認したが、仕様が同等のカルチペーターブレードとアクセサリーだけを装着してください。これに関してご不明な点がございましたら、サービス店にお問い合わせください。

高品質のツールまたはアクセサリーのみを使用してください。これを怠ると事故やパワーツールの損傷につながる恐れがあります。

STIHL は、STIHL 純正のツール、カルチペーターブレードおよびアクセサリーのご使用をお勧め

します。これらは、お客様の製品およびご使用になる性能要件に合わせて、特別に設計されています。

パワーツールのデフレクターは、ブレードから飛散するすべての物（石、ガラス、ワイヤーなど）から作業者を保護することはできません。これらの物はどこかで跳ね返り、作業者に当たる可能性があります。

安全性が損なわれる可能性がありますので、いかなる方法でも機械を改造しようとししないでください。STIHLは、承認されていないアタッチメントを使用した際の人的傷害および物的損害に対しては一切保証を行いません。

本機の清掃に高圧洗浄機を使用しないでください。強力な水の噴流が、本機の部品を損傷する恐れがあります。

3.1 衣服と装備

規定に沿った衣服と装備を身に付けてください。



衣服は、適切なもので、作業の妨げにならないことが必要です。作業用のコートではなく、身体にぴったりしたコンピスーツの作業服を着用してください。

枝、藪、機械の可動部などに引っかかるものを、身に付けしないでください。スカーフ、ネクタイ、装身具を身に付けしないでください。長い髪はまとめて、肩より上になるように固定します。



靴底が滑りにくく、鋼鉄製トゥキャップがついた保護ブーツを履いてください。



警告



目の負傷の危険性を低減するため、EN 166規格（カナダはCSA Z94）に準拠したしっかりとフィットする保護メガネを着用してください。保護メガネが正しくフィットしていることを確認してください。

「自分専用」のイヤーマフ（聴覚保護具など）を着用してください。



耐久性の高い素材製（革など）の作業用手袋を着用してください。

STIHLでは、作業者の防護のために各種の作業服や装備をご用意しています。

3.2 パワーツールの運搬

必ずエンジンを停止してください。

パワーツールはシャフトでバランスを取って、またはハーネスに吊るして運搬します。

高温の機械部品には触れないでください - **火傷する危険があります！**

車両を使用して運搬する場合は、転倒、破損、燃料漏れを防ぐために、パワーツールを適切に固定してください。

3.3 始動前

パワーツールが操作の安全性を確保できる状態であることを確認します - コンビエンジンとコンビツールの取扱説明書の関連項目を参照してください：

- カルチベーターブレード：正しく取り付けられ、確実に固定され、完璧な状態（清潔、滑らかに動作、変形なし）であること
- 防護装置に損傷や磨耗がないか点検します。デフレクターが損傷している機械は使用しないでください - 損傷している部品は交換してください。
- 操作部や安全装置に改造を加えないでください - 操作をする時は必ずデフレクターを装着してください。
- ハンドルはオイルや汚れが付着していない清潔で乾いた状態に保ちます - これはパワーツールを安全に操作するために重要です。
- 身体の大きさに合わせてハーネスとハンドルを調整します。「ハーネスの取付け」の章を参照してください。

パワーツールは、操作の安全性が確保されている状態でのみ操作することができます - **事故の恐れがあります！**

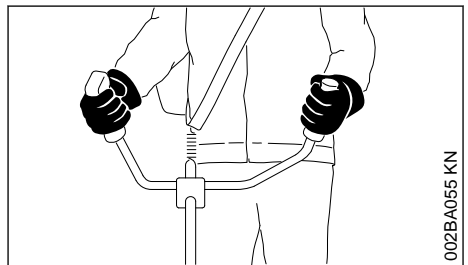
ハーネス使用中に緊急事態に備えて：機械を素早く取り外す練習をしてください。この練習中に本機を地面に投げ下ろして損傷させないように注意してください。

3.4 機械の保持と操作

常にしっかりと安定した足場を確保してください。

必ず両手でパワーツールのハンドルを保持します。

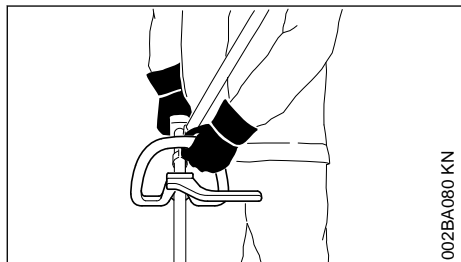
3.4.1 バイクハンドル付き仕様の場合



002BA055 KN

コントロールハンドルを右手で、ハンドルバーのハンドルを左手で握ります。

3.4.2 ループハンドル付き仕様の場合

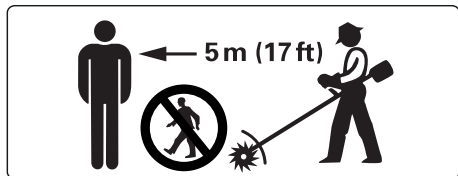


002BA080 KN

ループハンドルとバー（バリアバー）付きループハンドルが装備された仕様の場合、コントロールハンドルを右手で、ループハンドルを左手で握ります（左利きの場合も同様）。

3.5 作業中

差し迫った危険や緊急事態が発生した場合は、スライドコントロール / 停止スイッチ / 停止ボタンを 0 または STOP にセットして直ちにエンジンを停止します。



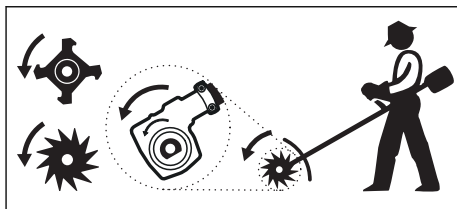
作業員以外、半径 5m 以内に立ち入ることは禁じられています - 飛散物によってケガをする危険があります！ 他の物体（車両、窓）からもこの距離を保ってください - 物的損害が生じる危険があります！



ギアボックスとカルチベーターブレードが正しく取り付けられ、位置調整されていることを確認するとともに、カルチベーターブレードに接触しないように注意してください - ケガをする危険があります！



エンジン運転中は機械から有毒な排気ガスが出ます。このガスは、無臭で目に見えないことがあり、未燃焼の炭化水素とベンゼンを含んでいることがあります。室内や換気状態の悪い場所では、絶対にエンジンをかけないでください - 触媒コンバータが装着されている機種でも同様です。



カルチベーターブレードの矢印は回転方向を示しています。カルチベーターブレードの矢印は、ギアボックスの矢印と同じ方向に向いている必要があります。

スロットトリガーを放した時にカルチベーターブレードがそれ以上動かないように、エンジンが正しくアイドルしていることを確認してください。アイドル調整を定期的に点検および修正してください。それでもアイドル中にカルチベーターブレードが回転する場合は、サービス店に点検と修理を依頼してください - コンビエンジンの取扱説明書を参照してください。

機械とコンビツールに適切なデフレクターを装着せずに作業することは絶対にお止めください - 飛散物により - ケガをする危険があります！

滑りやすい場所、濡れた地面、雪、傾斜や凸凹のある地面などに注意してください - スリッパする危険があります！

切り株、根などの障害物に注意してください - つまづく危険があります！

敷地を確認してください：石、金属部品などの固い物体が飛散する可能性があります - ケガをする危険があります！ - さらに、カルチベーターブレードを損傷する恐れがあります。



ケーブルまたは電線が地表の上または真下に敷設されている場所では、絶対に作業しないでください - 感電する危険があります！ コンビツールでそれらに触れたり、傷付けたりすると、重傷または致命傷を負う恐れがあります。

常にしっかりと安定した足場を確保してください。

パワーツールは、必ず通常の歩行速度で操作してください。

フェンス、壁、石材、根、樹木のすぐ近くや密生している敷地では、特に慎重に作業を行ってください。カルチベーターブレードが引っ掛かることがあります - 事故の恐れがあります！

回転しているアタッチメントが身体に触れることのないように、パワーツールを手前に引くとき

は十分に注意してください - **ケガをする恐れがあります！**

イヤープロテクター（聴力保護具）を装着している場合は、より高い注意力が必要で、危険を告げる音（叫び声、警笛など）が聞こえにくくなります。

疲労が蓄積しないように、適切な時期に休息をとってください - **事故の恐れがあります！**

日中、十分な視界のある場所で、冷静かつ思慮深く作業してください。他人に危険が及ばないように慎重に作業します。

パワーツールに、設計強度を超える異常な負荷（激しい衝撃や落下など）がかかった場合は、作業を続ける前に操作の安全性を確保できる状態にあることを必ず確認してください - 「始動前」の項目も参照してください。特に、安全装置が正しく機能していることを確認してください。お使いのパワーツールに損傷がある場合は、絶対に作業を続けしないでください。ご不明な点がございましたら、サービス店にお問い合わせください。

エンジンがかかっているときは、カルチペーターブレードに触れないようにしてください。カルチペーターブレードが物体でブロックされている場合、エンジンを直ちに停止します - **まず物体を取り除きます - ケガをする危険があります！**

カルチペーターブレードがブロックされ、同時にエンジンを加速させると負荷が増加し、エンジンの作動速度が減少します。これにより、クラッチが連続的にスリップして過熱状態になり、重要な機能部品（クラッチ、プラスチック製ハウジング部品など）の損傷につながります - その結果アイドリング時に作動しているカルチペーターブレードなどによっても - **ケガをする危険があります！**

カルチペーターブレードは、短い間隔で定期的に点検し、顕著な変化が生じた場合には直ちに点検してください：

- エンジンを停止し、機械を確実に保持します
- 状態としっかり固定されているかどうかを確認し、ひび割れに注意します
- ほんの小さな毛割れのようなものであっても、損傷したカルチペーターブレードはすぐに交換してください。

作業中もカルチペーターブレードとデフレクターの領域を定期的に清掃してください。

- エンジンを停止します
- 手袋を着用してください
- 芝、雑草、付着した土（泥の塊！）などを取り除きます

エンジンを停止してからカルチペーターブレードを交換してください - **ケガをする危険があります！**

損傷や亀裂のあるカルチペーターブレードを使い続けたり、溶接や矯正などにより修理したりしないでください - 形状の変化（不均衡）が発生します。

粒子や破片が剥がれ、操作者や第三者に高速で直撃する可能性があります - **重傷を負う危険があります！**

3.6 作業後

作業終了後または本機から離れる前にエンジンを停止してください。

作業終了後、コンビツールから、埃、汚れ、土、植物の破片を定期的に取り除いて清掃してください - その際必ず手袋を着用してください - **ケガをする危険があります！**

洗浄にはグリース溶剤を使用しないでください。

金属製コンビツールの表面は、十分に清掃した後、防錆剤を塗布してください。

3.7 整備と修理

定期的にも本機を整備してください。コンビツールおよびコンビエンジンの取扱説明書に書かれている整備や修理だけを行ってください。その他すべての作業はスチール サービス店に依頼してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店にのみ依頼されることをお勧めします。スチール サービス店には定期的にトレーニングを受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を受けています。

高品質の交換部品のみを使用して、事故および本機の損傷を回避してください。これに関して不明な点がある場合は、スチール サービス店へお問い合わせください。

当社ではスチール純正交換部品のご使用をお勧めします。これらは、お客様の機種およびご使用になる性能要件に合わせて、特別に設計されています。

ケガの危険を回避するため、本機の保守、修理、または掃除を実行する前に、**エンジンを必ず切ってください。**

4 本機の使い方

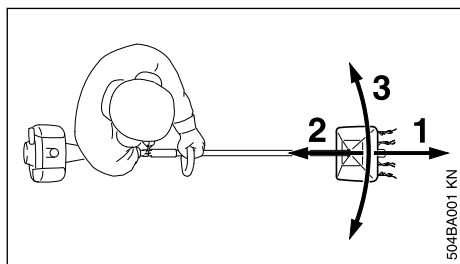
4.1 一般事項



4.2 準備

- ▶ エンジンを始動します
- ▶ ハーネスを取り付けます

4.3 作業方法



ルピック タインを前 (1) または後 (2) 方向、左右方向交互に (3)、または回転動作で作業することができます。

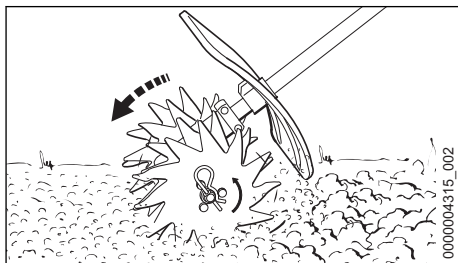
用途或使用条件に合う最適の方法で移動しながら、作業を進めてください。

特に固まった土壌で作業を進める場合は、前後に移動することをお勧めします。

警告

作業時には作動中のルピック タインが作業者に接触しないように注意してください。ルピック タインをコントロールするために、必ず足元をしっかり固めてください。

4.4 用途例

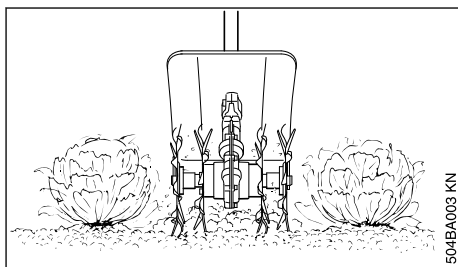


▶ 土を耕す

以前に耕し固まった土壌 (前年の菜園や花壇など) をならすまえにするべき作業があります。雑草などの草木を表面から取り除き、またカルチベーターブレードから投げ出される石、ビン、木片などの固い障害物を取り除きます。

機械を両手でしっかりと握り、小範囲を少しずつ必要な深さに耕します。

仕上げ作業では、足跡が残らないように機械を移動して作業します。その後レーキで作業場所全体を平らにします。



▶ 植物の周りの土壌を柔らかくする

植物の周りは表面の土壌だけを柔らかくします。深く耕しすぎると、植物の浅い根を傷つけます。

機械や樹木を傷つけないように、樹木の根に機械が挟まらないように留意してください。

▶ 土ならし作業をする

本機を使用して、腐植土、堆肥、腐葉、有機土壌、肥料などをならします。

古い根株や巨木の切り株、硬い障害物 (石材など) を取り除いて、耕作の準備をします。地面の上に肥料を均等に撒きます。

肥料は前後または、円形に移動してならしてください。

最後にレーキを使用して、作業場所の地面をならしてください。

▶ 畝を掘る

ゆっくり後ろ向きに歩きながら機械を引きます。必要な深さの畝を作ります。一度に必要な深さにならない場合は同じ動作を繰り返します。

4.4.1 カルチベーターブレードの掃除

作業中に、カルチベーターブレードに根など植物の切れ端が絡みつきます。カルチベーターブレードを掃除するには：

- ルビック タインのスイッチを切り、カルチベーターブレードの回転が止まるまで待ちます。
- 軸からヒッチピンを抜き取ります
- カルチベーターブレードを軸から引き抜きます
- 根株の破片、植物、土を取り除きます



警告

カルチベーターブレードの形状は鋭利です。清掃中手袋を着用してください。

5 承認されたコンビエンジン

5.1 コンビエンジン

STIHL 社が供給するが、STIHL 社がコンビツールとの使用を明示的に承認したコンビエンジンのみを使用してください。

このコンビツールは、次のコンビエンジンとの組み合わせのみで使用することができます：

STIHL KM 56 R、KM 85 R、KM 94 R、
KM 111 R、KM 131、KM 131 R、KM 235.0、
KM 235.0 R、KMA 130 R、KMA 135 R、KMA 80.0 R、
KMA 120.0 R；KMA 200.0 R



警告

ループハンドル付きの機器には、バー（バリアバー）が装着されている必要があります。

5.2 分離シャフト付き刈払機

このコンビツールは、分離シャフト付きの STIHL 刈払機（基本パワーツール、T モデル）にも装着できます。

そのため、このコンビツールは次のパワーツールでも使用が許可されています：

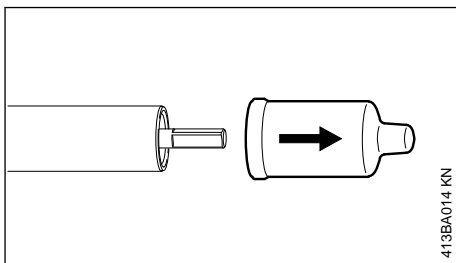
STIHL FR 131 T、FR 235.0 T



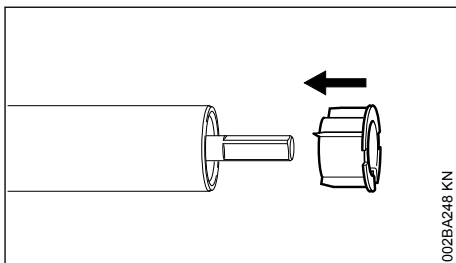
警告

バー（バリアバー）の使用法については、パワーツールの取扱説明書を参照してください。

6 運転準備



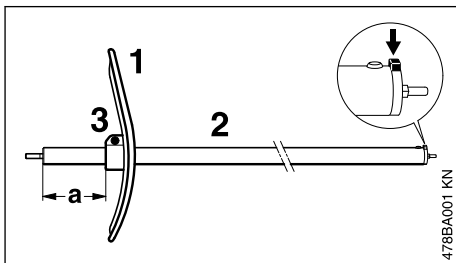
- ▶ シャフトの端部からプロテクトキャップを取り外し、後で使用するために保管してください
- 「機械の保管」を参照してください



注記

キャップを引き抜くときに、プラグがシャフトから抜ける場合があります。この場合、プラグがシャフトのリミットストップで止まるまで押し戻します。

6.1 デフレクターの取り付け



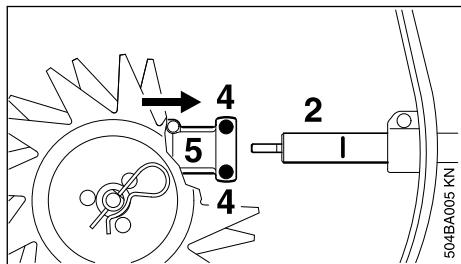
- ▶ 距離（a）が 100 mm になるまで、デフレクター（1）をシャフト（2）に押し込みます。

- ▶ デフレクター (1) が垂直になり、シャフトの固定用突出部 (矢印) が垂直に上を向くようにデフレクターの位置を合わせます。
- ▶ クランプネジ (3) をゆるく締めます。

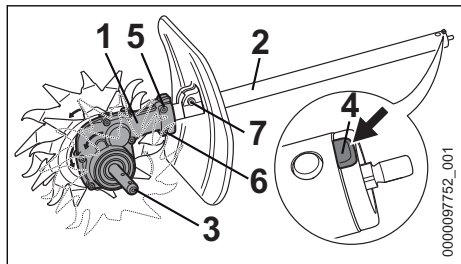
注記

デフレクターが固定されて、シャフト上で回らないことを確認します。

6.2 ギアボックスの取付け



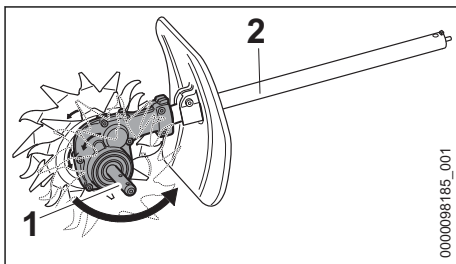
- ▶ クランプネジ (4) を外します
- ▶ ギアボックス (5) をシャフト (2) に押し込みます - その際ギアボックスを少し左右に回します



- ▶ シャフト (2) 上のギアボックス (1) を調整し、軸 (3) がシャフトの下になり、固定用突出部 (4) が上を向くようにします
- ▶ 上部クランプネジ (5) は、デフレクターのクランプネジ (7) と同じ位置にある必要があります
- ▶ クランプネジをしっかりと締め付けます

注記

ギアボックスが固定されて、シャフトで回らないことを確認します。



軸 (1) はシャフト (2) の下になる必要があります。ギアボックスの矢印は回転方向を示しています。

警告



ギアボックスの取付けや位置合わせが正しく行われていない場合、カルチベーターブレードが間違った方向に回転してしまうことがあります。

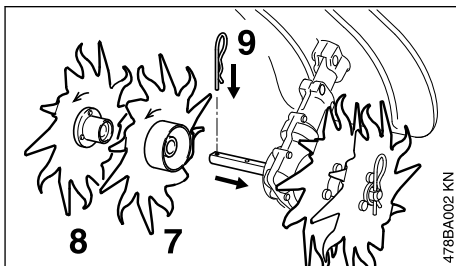
ギアボックスが正しく位置調整されており、作業時には作動中のルピック タインが作業者に接触していないことを確認してください。

6.3 カルチベーターブレードの取付け

ギアボックスの軸上の両方のワッシャーを紛失しないように注意してください。

- ▶ カルチベーターブレードを軸上に既定通りに取り付けるときに、次の点に注意してください：

左右のカルチベーターブレードは同じものではありません。ギアボックスとカルチベーターブレードの回転方向は矢印で示されており、一致する必要があります。



7 コンビツールの取付け

- ▶ 軸上で内側の右カルチベーターブレード (7) を回して位置を合わせ、止まるまで差し込みます - その際、回転方向 (矢印) を確認します。

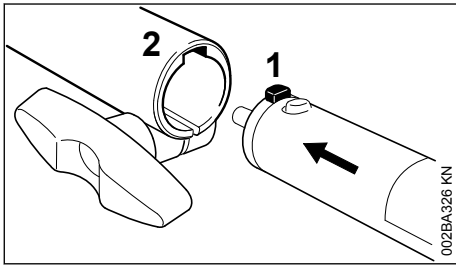
内側カルチベーターブレードの中心部は、外側カルチベーターブレードのそれより大きくなっています。

- ▶ 軸上で外側の右カルチベーターブレード (8) を回して位置を合わせ、止まるまで差し込みます - その際、回転方向 (矢印) を確認します。
- ▶ ヒッチピン (9) を軸の穴に差し込み、はめ込みます - ヒッチピンをカルチベーターブレードに平らに置きます。
- ▶ 同じ手順で左側のカルチベーターブレードも取り付けます。

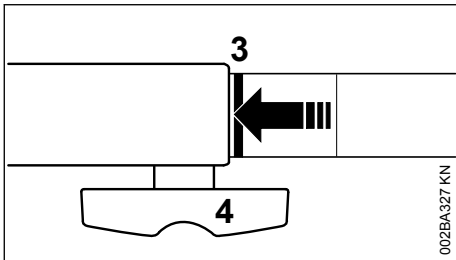
警告

カルチベーターブレードの形状は鋭利です。カルチベーターブレードを取り付ける際は、手袋を着用してください。

7 コンビツールの取付け



- ▶ ドライブ チューブの突出部 (1) をカップリングスリーブのスロット (2) に、止まるまで押し込みます。



適切に取り付けると、赤線 (3) (矢印で示した部分) がカップリングスリーブの端とぴったり重なります。

- ▶ スターノブ (4) をしっかり締め付けます。

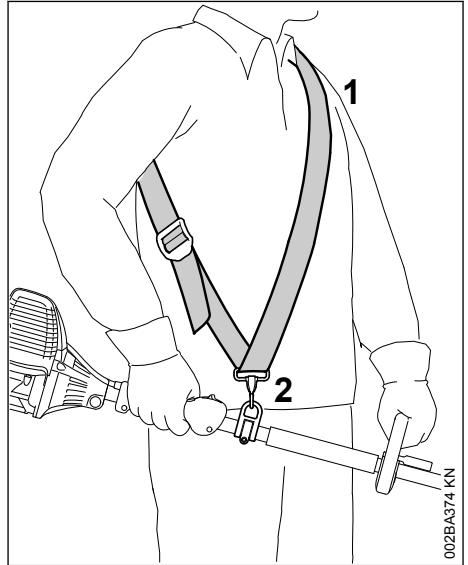
7.1 コンビツールの取外し

- ▶ ドライブ チューブを取外すには、上記と逆の手順を行います。

8 ハーネスの取付け

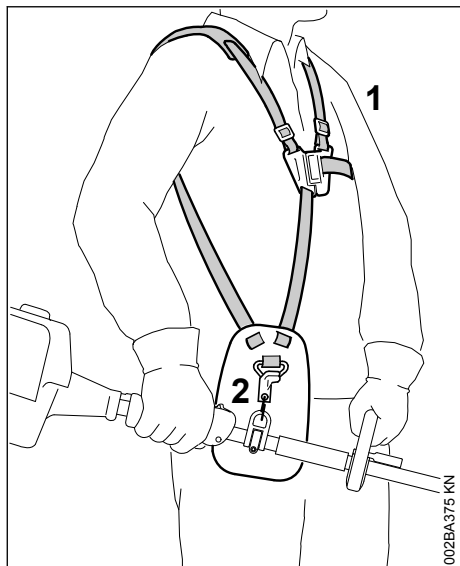
ハーネス、吊り下げリング、カラビナ (スプリングフック) のタイプとスタイルは、市場によって異なります。

8.1 肩掛けベルト



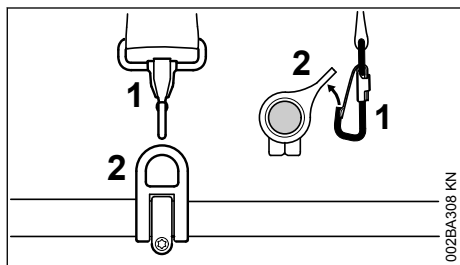
- ▶ 肩掛けベルト (1) を肩に掛けます。
- ▶ ベルトの長さを調整して、カラビナ (2) が、右腰から手幅分下の位置にくるようにします。

8.2 フルハーネス



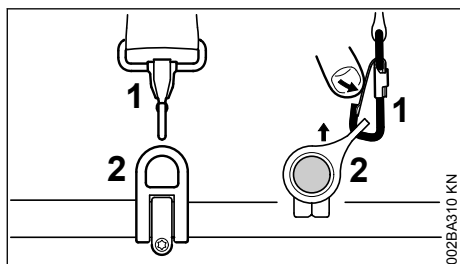
- ▶ フルハーネス (1) を着用します。
- ▶ カラбина (2) が右腰から手幅分下がった位置に来るようにベルトの長さを調整します。

8.3 機械のハーネスへの取り付け



- ▶ カラбина (1) をドライブチューブの吊り下げ用リング (2) に掛けます - 吊り下げ用リングをしっかりと保持します。

8.4 機械のハーネスからの取り外し



- ▶ カラбина (1) のバーを押して、吊り下げ用リング (2) をカラбинаから引き抜きます。

8.5 緊急時の機械の取り外し



警告

差し迫った危険の場合、機械を素早く取り外す必要があります。非常時に備えて、機械を外して地面に降ろす練習をしてください。この練習中に本機を地面に投げ下ろして損傷しないようにしてください。

「機械のハーネスからの取り外し」の解説に従い、パワーツールをカラбинаから取り外す練習をしてください。

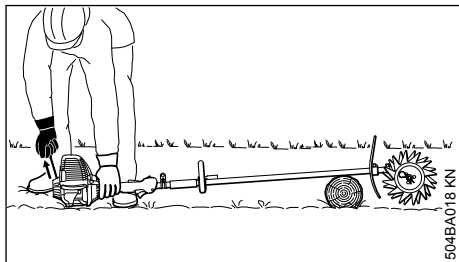
肩掛けベルトを使用している場合：ストラップを肩から外す練習をしてください。

フルハーネスを使用している場合：ロックングプレートをすばやく開き、肩からハーネスストラップを外す練習をしてください。

9 エンジンの始動と停止

9.1 エンジンの始動

必ずコンピエンジンと基本パワーツールの取扱説明書に従ってください。



- ▶ 本機を地面に置きます。マシンサポートに確実に載せてください。ドライブチューブのデフレクター側を高さのある支持物 (盛り土、丸太、レンガ等) に載せます。

事故が生じる危険を低減するために、ローターブレードが地面やその他の障害物と接触していないことを確認します。

- ▶ 立つか、かがむか、ひざまずいて安定した足場を確保します。
- ▶ 機械を左手で押さえ、確実に押し付けます - コントロールハンドルの操作部には触れないでください - コンピエンジンまたは基本パワーツールの取扱説明書を参照してください。

注記

ドライブチューブに足を載せたり、ひざまずいたりしないでください。

警告

エンジンが始動するとすぐに、ブレードが回転し始めることがあります。そのため、始動後はスロットルを軽く引きます - エンジンがアイドル回転に戻ります。

使用中のコンビエンジンまたは基本パワーツールの取扱説明書に記載されている始動手順に従って、適切に始動してください。

9.2 エンジンの停止

- ▶ コンビエンジンまたは基本パワーツールの取扱説明書を参照してください。

10 機械の保管

機械を約 30 日以上使用しない場合

- ▶ カルチベーターブレードを取り外し、清掃し、点検します。
- ▶ コンビツールをコンビエンジンから分離して保管する場合：連結部が汚れないようにシャフトに保護キャップを装着します。
- ▶ 機械を乾燥した安全な場所に保管してください。(子供など)承認されていない人が使用しないように確保してください。

11 整備表

以下の整備周期は通常の作業条件を対象としていることに注意してください。毎日の作業時間が長い場合、あるいは作業条件が悪い場合(非常にほこりの多い場所など)は、それに応じて、提示された間隔よりも短くしてください。

全てのスクリューとナット

- ▶ 必要に応じて締め付けます

スリーピング アタッチメントおよびデフレクタ

- ▶ 作業の開始前と燃料給油後に目視で点検し、締め付け具合を検査します
- ▶ 損傷している場合は交換します

安全ラベル

- ▶ 判読できない安全ラベルを交換します

12 磨耗の低減と損傷の回避

本取扱説明書とコンビエンジンの取扱説明書の記述を遵守して使用すると、パワーツールの過度の磨耗や損傷が回避されます。

パワーツールの使用、整備並びに保管は、これらの取扱説明書の記述に従って十分な注意をはらって行ってください。

特に以下の場合のように、安全に関する注意事項、取扱説明書の記述内容および警告事項に従わずに使用したことに起因する全ての損傷については、ユーザーが責任を負います：

- スチールが許可していない製品の改造。
- 当製品への適用が承認されていない、適していない、または低品質のツールやアクセサリの使用。
- 指定外の目的に当製品を使用。
- スポーツ或いは競技等の催し物に当製品を使用。
- 損傷部品を装備したままで当製品を使用したことから生じる派生的損傷。

12.1 整備作業

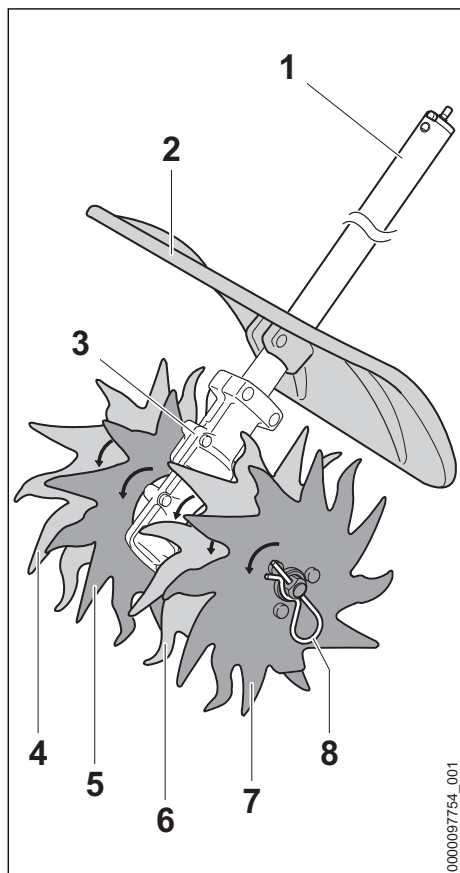
「整備表」の章に列記されている作業は、必ず全て定期的に行ってください。整備作業を使用者が自ら行えない場合は、サービス店に依頼してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店だけに依頼されることをお勧めします。スチール サービス店には定期的にトレーニングを受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を受けています。

上記整備作業を怠ったことが原因で生じた以下のような損傷に対しては、上記の例として、以下の部品が挙げられます：

- 不適切な保管に起因する腐食およびその他の派生的損傷。
- 低品質の交換部品を使用したことによる当製品の損傷。

13 主要構成部品



- 1 シャフト
- 2 デフレクター
- 3 ギアボックス
- 4 右外側カルチベーターブレード
- 5 右内側カルチベーターブレード
- 6 左内側カルチベーターブレード
- 7 左外側カルチベーターブレード
- 8 ヒッチピン

14 技術仕様

14.1 ギアボックス

一段式ウォーム ギア

減速比： 44:1

14.2 ローターブレード

ダブルエッジ ローターブレード 4 個が同方向へ回転します。

直径： 230 mm
作業幅： 220 mm

14.3 重量

デフレクターとドライブ チューブ付きの状態：
4.1 kg

14.4 騒音・振動数値

コンビツール BF-KM 搭載のパワーツールにおける音響値・振動値は、アイドル回転数と最大定格回転数の運転状態を 1:6 の割合で考慮した上で測定しています。

振動に関する事業者への指令 2002/44/EC の遵守の詳細については、

www.stihl.com/vib をご覧ください。

14.4.1 ISO 11201 に準拠した音圧レベル L_{peq}

ループハンドル付き KM 56 R :	95 dB(A)
ループハンドル付き KM 85 R :	95 dB(A)
ループハンドル付き KM 94 R :	94 dB(A)
ループハンドル付き KM 111 R :	99 dB(A)
バイクハンドル付き KM 131 :	100 dB(A)
ループハンドル付き KM 131 R :	99 dB(A)
バイクハンドル付き KM 235.0 :	101 dB(A)
ループハンドル付き KM 235.0 R :	101 dB(A)
ループハンドル付き KMA 130 R :	76 dB(A)
ループハンドル付き KMA 135 R :	74 dB(A)
ループハンドル付き KMA 80.0 R :	76 dB(A)
ループハンドル付き KMA 120.0 R :	76 dB(A)
ループハンドル付き KMA 200.0 R :	74 dB(A)
FR 131 T :	100 dB(A)
FR 235.0 T :	102 dB(A)

14.4.2 ISO 3744 に準拠した音響パワーレベル L_{weq}

ループハンドル付き KM 56 R :	105 dB(A)
ループハンドル付き KM 85 R :	106 dB(A)
ループハンドル付き KM 94 R :	106 dB(A)
ループハンドル付き KM 111 R :	107 dB(A)
バイクハンドル付き KM 131 :	108 dB(A)
ループハンドル付き KM 131 R :	108 dB(A)
バイクハンドル付き KM 235.0 :	110 dB(A)
ループハンドル付き KM 235.0 R :	110 dB(A)
ループハンドル付き KMA 130 R :	86 dB(A)
ループハンドル付き KMA 135 R :	86 dB(A)
ループハンドル付き KMA 80.0 R :	88 dB(A)

ループハンドル付き KMA 120.0 R :	88 dB(A)
ループハンドル付き KMA 200.0 R :	87 dB(A)
FR 131 T :	108 dB(A)
FR 235.0 T :	110 dB(A)

14.4.3 ISO 20643 に準拠した振動値 $a_{hv,eq}$

	左ハンドル	右ハンドル
ループハンドル付き KM 56 R :	5.5 m/s ²	7.4 m/s ²
ループハンドル付き KM 85 R :	2.2 m/s ²	6.3 m/s ²
ループハンドル付き KM 94 R :	3.9 m/s ²	4.2 m/s ²
ループハンドル付き KM 111 R :	2.8 m/s ²	3.1 m/s ²
バイクハンドル付き KM 131 :	3.0 m/s ²	2.7 m/s ²
ループハンドル付き KM 131 R :	4.2 m/s ²	4.3 m/s ²
バイクハンドル付き KM 235.0 :	2.2 m/s ²	3.1 m/s ²
ループハンドル付き KM 235.0 R :	2.8 m/s ²	3.4 m/s ²
ループハンドル付き KMA 130 R :	2.5 m/s ²	2.3 m/s ²
FR 131 T :	3.2 m/s ²	3.8 m/s ²
FR 235.0 T :	1.4 m/s ²	1.1 m/s ²
ループハンドル付き KMA 80.0 R	3.1 m/s ²	2.4 m/s ²
ループハンドル付き KMA 120.0 R	2.9 m/s ²	1.9 m/s ²
ループハンドル付き KMA 135 R	1.6 m/s ²	2.1 m/s ²
ループハンドル付き KMA 200.0 R	2.4 m/s ²	2.5 m/s ²

指令 2006/42/EC に準拠した K-係数は、音圧レベルおよび音響出力レベルについて 2.0 dB(A) です。指令 2006/42/EC に準拠した K-係数は、振動加速度について 2.0 m/s² です。

14.5 REACH

REACH は EC の規定で、化学物質 (Chemical substances) の登録 (Registration)、評価 (Evaluation)、認可 (Authorisation)、規制を意味します。

REACH 規定 (EC) No.1907/2006 の遵守の詳細については、以下をご覧ください。

www.stihl.com


15 整備と修理

本機を使用する方が実施できる保守および整備作業は、本取扱説明書に記述されていることだけです。それ以外の修理はすべてサービス店に依頼してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店のみに依頼されることをお勧めします。スチール サービス店には定期的にトレーニングを受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を受けています。

修理時には、当社が本機への使用を承認した、または技術的に同等な交換部品だけをご使用ください。高品質の交換部品のみを使用して、事故および本機の損傷を回避してください。

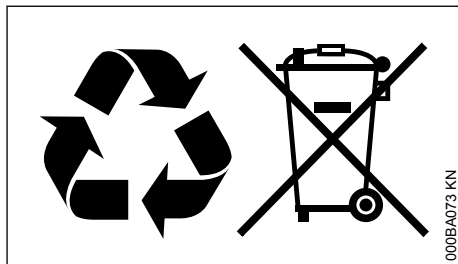
当社ではスチール オリジナルの交換部品のご使用をお勧めします。

スチール純正部品には、スチール部品番号、**STIHL** ロゴマークおよびスチール部品シンボルマーク  が刻印されています。(小さな部品では、シンボルマークだけが刻印されているものもあります。)

16 廃棄

廃棄に関する情報については、最寄りの行政機関または STIHL サービス店へお問い合わせください。

不適切な廃棄は、健康被害や環境汚染の原因になるおそれがあります。



- ▶ 現地の規制に従い、パッケージを含む STIHL 製品を適切な回収場所へ持ち込み、リサイクルしてください。
- ▶ 家庭ごみと共に廃棄しないでください。

17 EC 適合証明書

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

Badstr. 115
D-71336 Waiblingen

Germany (ドイツ)

は、単独の責任において下記の製品が

モデル :	コンビツール ルピック ク タイン
製造ブランド :	STIHL
タイプ :	BF-KM
シリアル番号 :	4601

2006/42/EC、2014/30/EC の関連する条項に適合しており、以下の規格のそれぞれ製造時点で有効

であった版に準拠して開発および製造されたことを保証いたします：

EN ISO 12100 (指定されたコンビエンジン KM-および背負式刈払機 FR-モデルに関連して)

EN ISO 12100、EN 60335-1、EN 50636-2-92(指定されたバッテリーコンビモーター KMA モデルに関連して)

技術文書の保管：

ANDREAS STIHL AG & Co. KG
Produktzulassung

製品の製造年は、機械本体に表示されています。

2022年9月19日、Waiblingenにて発行

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

代理人



Robert Olma, Vice President, Regulatory Affairs
& Global Governmental Relations

18 UKCA 適合宣言

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

Badstr. 115

D-71336 Waiblingen

Germany (ドイツ)

は、単独の責任において下記の製品が

モデル：	コンビツール ルピック クタイン
製造ブランド：	STIHL
タイプ：	BF-KM
シリアル番号：	4601

英国規則 Supply of Machinery (Safety) Regulations 2008 および Electromagnetic Compatibility Regulations 2016 の関連する条項に適合しており、製造の時点で有効であった次の規格のバージョンに準拠して開発および製造されたことを保証いたします：

EN ISO 12100 (指定されたコンビエンジン KM-および背負式刈払機 FR-モデルに関連して)

EN ISO 12100、EN 60335-1、EN 50636-2-92(指定されたバッテリーコンビモーター KMA モデルに関連して)

技術文書の保管：

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

製品の製造年は、機械本体に表示されています。

2022年9月19日、Waiblingenにて発行

ANDREAS STIHL AG & Co. KG

代理人



Robert Olma, Vice President, Regulatory Affairs
& Global Governmental Relations

19 アドレス

www.stihl.com

www.stihl.com



0458-478-4321-B



0458-478-4321-B